

授業科目名	学校・施設 インターンシップⅡ	教員名	河原 国男 佐々木 由喜子 (実務経験のある教員) 田上 幸雅 (実務経験のある教員)	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	選択
科目番号	JIS204	配当年次	2年前期		幼稚園教諭	選択
					保育士	選択
授業形態	実習				こども音楽療育士	
単位数	1単位				情報処理士	
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	<p>学校・施設（保育所、幼稚園等）において、乳幼児・児童・生徒および学習・保育環境に対する計画的かつ継続的な観察を行うとともに、学校・施設実務への補助的参画を通して教育活動の実際を理解する。さらに、インターンシップⅠでの経験を踏まえ、幼児・児童・生徒の実態把握と教育活動等との関連を多面的に捉え、学校・施設経営や学級運営の仕組み、教育・保育活動を支える実践的技能について理解を深める。大学で学ぶ理論と学校・施設実践を結び付け、実践的指導力を高め、教員・保育者に必要な資質・能力を養う。</p>					
到達目標	<p>(1) 学校・施設における授業以外の実務（授業補助、学校行事、部活動、放課後児童クラブ、土曜授業等）や実践的な業務に主体的に参画し、その経験を通して学校・施設運営の実際と教員・保育者の職務の多様性について実践的に理解する。</p> <p>(2) 乳幼児、児童及び生徒との多様な活動場面において適切に関わりながら、教科指導以外の教育的働きかけや養護的関わりの意義や支援の在り方について理解を深める。</p> <p>(3) 学校教育・保育施設における今日的課題への取組を観察・体験し、その実践が学校・施設経営方針や学校・施設の特色ある教育・保育活動等、さらにそれを支える組織体制とどのように関連しているかを多面的に理解する。</p> <p>(4) インターンシップでの実践経験を振り返り、大学で学ぶ理論と結びつけながら自身の学びを整理・省察することを通して、教職に関する課題や自己の成長について主体的に考察する力を高める。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本演習は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」「4. 教育に関する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。」「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授業の概要	<p>本科目は、上記の一般目標、到達目標の実現のため、学校（幼稚園を含む）、保育所、社会教育施設、その他の関連施設で乳幼児、児童等とのかかわる「体験活動」であって、全体として、Active Learningとして特徴づけることができる。</p> <p>「教育実習」と学校・施設の「体験活動」が相まって実践力を身につけることができると期待する。本学では1単位の実習単位としてカウントする。</p> <p>その実施に際しては、受け入れ（学校、社会教育施設、保育所等）施設の職員及び、学部内の教育保育担当教員の指導・助言のもとに参加する。それぞれの求められる体験活動の趣旨（不登校支援、「保育者養成プログラム」等）を理解する。</p> <p>終了後は、自身の体験活動を振り返り所定の報告書を提出する。</p>					
履修条件・注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校・施設インターンシップⅠの単位を取得していること。 2. 実習先の学校・園は、学生諸君の実習のためにあるのではなく、子どもたちの学びの場となっている。したがって、教員・保育者への強い志望を持っており、成績評価の対象として定められた実習時間を継続できる学生のみについて受講を認める（途中で中止することは、実習先の子どもの気持ちや学校・園の信頼を裏切ることになるので、厳に慎むこと）。 3. 受け入れ側（学校・施設）に対する感謝の念を基本とすることを忘れない。 4. 実習にかかる交通費等の諸経費は受講生負担とする。 5. 					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・施設インターンシップは、講義の空き時間を活用して実施する。 ・学校インターンシップⅡとして、以下を認定している： <p>【初等の場合】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 県と連携する推奨科目；不登校支援「コネクト」 (2) 宮崎市、西都市と連携する推奨科目：宮崎市主催の特別支援ボランティア、加納小・清武小ボランティア、西都市英語力向上サポーター (3) NPO法人： レインボースクール、たいよう塾、その他 					

	<p>【幼保の場合】</p> <p>保育者養成プログラムのうち、「忍ヶ丘保育者塾」「保育者養成実践基礎演習」「保育ボランティア」、その他学部長が認めた現場体験等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記以外について、教員・保育者・保育教諭の資質向上につながる活動を認定するので、担当教員と相談・確認の上、実施すること。 <p>第1回：学校・施設インターンシップに関するオリエンテーション・事前研修会(個人情報・研究倫理研修を含む)①～⑧については、それぞれの機会(月曜3限、その他)に事前指導を行う。</p> <p>第2回～第15回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初等・幼保ともに原則として14回(インターンシップ合計時間数は30時間)以上の研修を必要とする。
授業外学修時間の確保について	
学生に対する評価	授業計画に記載されているボランティア活動を30時間以上経験したことを報告書等で確認する他、提出されたレポートあるいは事後報告等を評価し、「合・否」で判定する。
テキスト	
参考書・参考資料等	必要な資料はすべてプリントで配布する。
担当者からのメッセージ	所定の時間(30時間)を超えて体験することが望ましい。
オフィスアワー	河原国男(メール等でアポイントを取ること) 佐々木由喜子(メール等でアポイントを取ること) 田上幸雅(メール等でアポイントを取ること)
備考	